

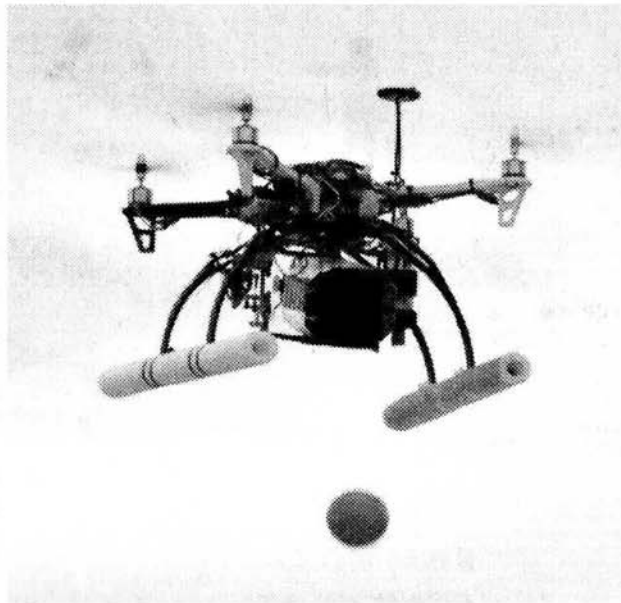
キャリオ技研(名古屋市中村区、富田茂社長、052・627・0495)は、電動無線操縦ヘリコプターにカメラと全地球測位システム(GPS)を搭載した無人探査システムに、火災消火機能を持たせた製品「SARAI-XF」を開発した。人が立ち入れない高所などで消火活動をする。自社開発の3次元画像識別システムと組み合わせ、精度良く消火剤を投下できる。2012年度中に安否などを検証し、13年5月の発売を目指す。操縦者はヘリに取り付けたGPS情報とオンライン地図情報サービスと

火災状況を確認 消火剤 正確投下

キャリオ技研

無人探査ヘリ開発

組み合わせ、撮影場所の
大まかな場所を特定、さ
らに電荷結合素子(CCCD)カメラの画像によ



GPSを搭載し、人が立ち入れない高所などで消火活動を行える(SARAI-XF)

て火災状況を確認できる。価格は525万円から。自治体や企業の防災部門に販売する。

火災現場では3次元画像識別システム「CAV」を使い、事前に登録した3次元データとカメラ画像の差異を認識。機体速度などを考慮して消火剤落下をシミュレーションが行え、狙った場所に消火剤を投下できる。ヘリは長さ710mm×幅710mm×高さ345mm。市販のボール型消火剤などを800g搭載できる。操縦と消火剤の発射が一つのコントローラーで行え、扱いやすい。

(名古屋)